

令和5年2月7日

陳情第98号

日本政府に核兵器禁止条約への参加を求める意見書を提出するよう求める陳情書

日本政府に核兵器禁止条約への参加を求める意見書を提出するよう求める陳情書

【陳情趣旨】

私たちは、核兵器のない平和で公正な世界を求めています。今、戦争か平和か、核兵器の使用を許すかどうか、人類が重大な岐路に立たされています。

それは、ロシアがウクライナへの軍事侵攻を行っており、間もなく1年になります。軍事侵攻に当たって、核兵器の使用を示唆し威嚇しています。核による威嚇は核兵器禁止条約でも禁止しており、容認することはできません。

もし、一たび核兵器が使用されれば、人類と地球に壊滅的な被害を与えるでしょう。77年前、広島・長崎に原爆が投下され、その年のうちに20万人を超える人が亡くなりました。唯一の戦争被爆国日本から“核兵器を使うな”“核兵器はなくせ”と先頭に立って声を上げ、核兵器禁止条約に参加すべきではないでしょうか。

本市は、1993年「小田原市平和都市宣言」を採択し、その後「平和首長会議」等にも加盟し非核平和事業を推進しています。

核兵器禁止条約は、2017年7月、国連で122か国の賛成で採択され、一昨年発効しました。核兵器禁止条約の実現は、広島・長崎の被爆者の皆さんをはじめ、平和を願う多くの人々が粘り強く求めてきたことであり、核兵器廃絶に向けた国際世論の高まりの中でここまで前進しています。日本政府は、核廃絶に向けた着実な前進を目指し、核兵器の非人道性、残虐性を自ら体験した戦争被爆国として核兵器禁止条約に参加し、一層の努力を強めるときではないでしょうか。

貴議会が、これらの趣旨を理解くださり、地方自治法第99条の規定により、日本政府に核兵器禁止条約に参加を求める意見書を提出するよう求めるものです。

【陳情項目】

日本政府に核兵器禁止条約への参加を求める意見書を提出すること

令和5年2月7日

小田原市議会議長

大川 裕 様

提出者

小田原市国府津2509-13

核をなくそう小田原みんなの会

事務局長 片野 憲二 ㊞